

令和8年度 仙台 BOSAI-TECH イノベーション創出促進事業
自治体提供課題詳細

タイトル	発災時の仙台駅周辺における 帰宅困難者の一時滞在場所への案内・誘導
提供自治体名	宮城県仙台市
掲載期限	令和8年8月21日まで

1. 解決したい課題の背景

- ・ 大規模災害時に帰宅困難者が発生した場合には、いわゆる避難所とは別の一時滞在場所へ誘導する仕組みとなっている。
- ・ 現状では、仙台駅横のバスプール等にいる多くの滞留者に対し、数名のスタッフにより整理・誘導し、滞在場所に案内することとなっているが、現実的に困難と考えられる。

2. 実現したいこと

- ・ 大規模災害時に仙台駅周辺にいる帰宅困難者が直接的な案内や誘導なしに、自身で一時避難先の場所を把握し、移動できる状態にしたい。
- ・ スマートフォン等を用いて、帰宅困難者自らが滞在先施設を予約し、直接向かうシステムを、コストをなるべくかけない形で導入できないか検討したい。

3. 想定している技術（こだわらない場合はその旨を記載）

- ・ k i n t o n e 及び関連プラグインを用いた試作版を本市において作成済みであるため、基本的にはそれに準ずる性能を想定する。
- ・ 具体的には、①帰宅困難者による施設予約②施設側による開設可否等の入力管理③市や交通機関本部におけるデータ管理など。

※現在、本市において試作したシステムでは、APIリクエスト数の制限等の課題があることから、本検討ではこれをクリアした形で導入したい

- ・ 可能であれば、多言語化や帰宅困難者への情報発信機能（交通状況等）も加

えたい。

4. 希望する実証時期・実証場所（現時点の想定）

- ・ 令和8年10月下旬頃、仙台市内での実証を希望する。

5. その他制約事項・補足事項（関連ホームページ等）

(1) その他制約事項

- ・ 災害時の多数アクセスを想定し、十分な可用性・拡張性・セキュリティを備えたクラウド環境上（AWS など）で構築・運用できること。ただし、同等の可用性・拡張性・セキュリティを確保できる他の環境による提案も可とする。

(2) 補足事項

- ・ 帰宅困難者対策ホームページ

<https://www.city.sendai.jp/anzensuishin/kurashi/anken/saigaitaisaku/torikumi/kitaku.html>